

TOKI Sprint Cup レースガイドライン



TOKI Sprint Cup レースガイドライン

1. 皆様にレースを楽しんで頂く為の重要事項

最重要ポイントは「レースを楽しむ！」です。

このガイドラインにご賛同及びご理解の上ご参加をお願いします

SWSレースは世界共通のポイントシステムでエンジョイ派のレンタルカーターがレースを楽しむイベントです。楽しく、怪我無くイベントを開催できるよう全ての参加者は規則及びガイドラインを確認してお互いをリスペクト（尊重）してレースを楽しんでください。

主催者と参加者はお互いをリスペクト！参加者同士もお互いをリスペクト！

●このガイドラインに記載の内容は目安となっております。それぞれのコーナーによって目安が変わる場合があります。ペナルティなどのジャッジは競技長の判断を尊重してください。

※レース中に全てのドライバーのジャッジを出来るわけではありませんので参加者はガイドラインの目安を守ってお互いをリスペクト（尊重）したレースを楽しんで下さい。

●付き添いを含むすべての参加者は主催者やレースの関係者、又は参加者同士で他人が不快に感じる行為や不謹慎な言葉遣い、走行中のジェスチャー、暴言、威圧、大声、飲酒運転あるいはイベントを妨害する行為をとった場合、失格とします。※施設退去や次回のエントリーを拒否する場合があります。（怒ったり機嫌が悪い態度を表に出すと他の参加者も楽しむ事が出来なくなります）

●主催者や大会関係者、参加者同士に対してSNS等で誹謗中傷、侮辱をした場合、今後全ての当店のイベントへの参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合があります。

●参加者はオフィシャルの判定及びイベント運営、カートの個体差、マシントラブルに対する抗議を一切行うことができません。参加者はレンタルカートには個体差やマシントラブルもあることを承知して参加してください。主催者にはこれらを最小に抑える義務があります。

●故意と思われるクラッシュなどによりカート及び施設の損害があった場合、そのカートを使用したドライバーに主催者は修理代を請求する場合があります。

●主催者は不可抗力による特別な事情が生じた場合にはイベントを中止する事が出来ます。

●主催者は会場内で撮影された全ての参加者の肖像権を有し、音声、写真、映像などを放送、出版、インターネット公開等にて使用する事が出来る事とします。

※不都合がある場合は事前に主催者にお申し出ください。





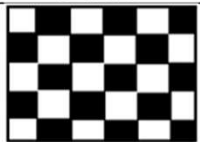


●全ての参加者は走行中に発生した保険の範囲を超える事故や怪我は自己責任で解決し、主催者、サーキット所有者、管理者、イベントにかかわる関係各所、他の参加者を非難、責任追及、損害賠償の要求、訴訟を起こさない事とします。

●主催者が規則の変更が必要と判断した場合は、改訂版規則書又は公式通知やドラミにて発表します。

●規則の解釈 本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義、不足が生じた場合は、主催者及び競技長の決定を最終的なものといたします。

TOKI Sprint Cup レースガイドライン

2. レース前に覚える必要のあるフラッグの種類

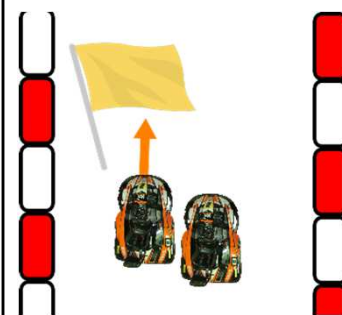
ブラックフラッグ (黒旗)	ブルーフラッグ (青旗)	オレンジ ボール	白黒旗	チェッカー フラッグ	レッドシグナル (赤旗)	イエローシグナル (黄旗)
						
すみやかにピット インして競技長の 所に来て下さい。	後ろから先頭集団 が接近していま す。 静止：進路を譲る 準備 振動：進路をすぐ 譲る	装備品の不備、マ シントラブル時に 提示。ピットイン してオフィシャル の指示に従って 下さい。	警告のみ ピットイン不要。	走行終了の合図 です。 ゆっくり1周して ピットインしてく ださい。	走行中断の合図で す。徐行してオフ ィシャルの指示に 従い最終コーナー に移動して下さい	コース内の危険を お知らせの合図で す。前方に注意し て走行してください。 追い越しは禁 止となります。

2-1 走行中はフラッグ又はシグナルを確認する

コースオフィシャルから提示された旗に従わないことをフラッグ無視とします。これは旗の種類、従わなかった理由、利益を得たか否かにかかわらず適用されます。

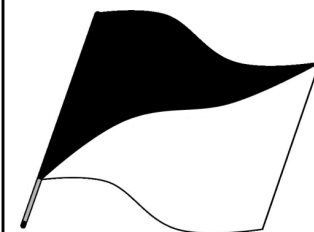
一般的な禁止行為は以下となります。

- ①黄信号(旗)区間での前車追い越しや減速せずに追い越しをかける行為
- ②オレンジボール旗、黒旗等の提示を無視し、レースを続ける行為
- ③青旗の振動提示に対しラインを譲らない
- ④白黒旗の提示を受けても、その警告行為を直さない
- ⑤その他



2-2 白黒旗（警告旗）について

- ①警告対象のドライバーに対し、警告旗とゼッケンをメインポストで提示します。
- ②白黒旗を受けるような行為を繰り返した場合はペナルティの対象となります。
- ③危険な行為、事故を招くような行為には積極的に白黒旗が提示されます。
- ④レース後、カメラ判定によりペナルティが課される場合があります。



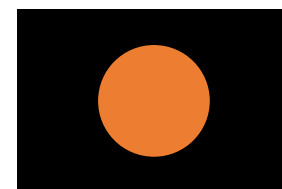
2-3 チェッカー旗について

- ①チェッカー旗を受けたら安全なスピードまで落としてピットに戻ってください。
- ②チェッカー旗を受けたあともう1周して再度コントロールラインを通過しチェッカー旗を2回受けた場合はペナルティの対象となります。
- ③チェッカー旗を受けたあと減速せずにスピンやコースアウト等をし、レースの進行を遅らせた場合はペナルティの対象となります。
- ④チェッカー後の追い越しは禁止致します。



2-4 オレンジボール旗について

- ①装備品の不備、マシントラブル時に提示されます。
 - ②提示されたドライバーは、ピットに戻り装備品を整える、もしくは車両交換等を行いレース復帰となります。
- ※必ず走行前にヘルメットのあご紐等の装備品チェックは心がけて下さい。



3. ドライバーサイン

※ドライバーは後続車に下記のサインを出すことを推奨しています

- 1.コース上で停止した場合は両手を頭上に挙げて振る。
- 2.ピットイン、ピットアウトの際には右手を頭上に高く上げる。(必須)
- 3.スローダウンするドライバーは片手を高く上げる。
- 4.後続車両に進路を譲る際は、抜いてほしい方向を指さしで合図を行う。

4. ピットイン・アウト、ピットストップについて

- 1.ピットイン・アウト時は後続車に見えるように右手を挙げて合図して下さい。
- 2.ピットロード内はせまく危険なため必ず徐行をお願いします。
- 3.コースイン、ピットインする際は必ずピット出入口のホワイトラインの左側をキープして走行し、右手をあげて下さい。
- 4.コースを走行しているカートが優先となります。クリアな合流ができるまでは左側を走行して下さい。
※ホワイトラインをカットした場合は、危険行為としてペナルティの対象となります。
※ラインカットの目安は、タイヤが白線を跨いだ状態となります。
オンライン（白線上にタイヤが乗っている状態）はペナルティの対象となりませんが、安全の為余裕をもって白線内に収まるよう走行して下さい。
- 5.ピット内は前方カートに追突しないように停車してください。追突してしまった場合、危険行為としてペナルティの対象となる場合があります。
- 6.ピット内では指定された枠へ停車してください。

5. スピン・クラッシュ時について

- 1.スピン・クラッシュをしてしまった場合は後続車に見えるように両手を挙げて合図して下さい。
- 2.コースへ復帰する前に必ず周囲の安全確認をしてから復帰してください。
- 3.コースへ復帰する際、後続車の走行を妨害してしまった場合、ペナルティの対象となります。
- 4.コース復帰できない状況の場合、オフィシャルが助けに向かいます。乗車したままでお待ちください。

6. 相手の事も考えて走るドライビングモラル（禁止事項）

6-1 ジグザグ行為 ブロック走行

1番のカートのように直線部分でカートの幅以上に左右に蛇行することをジグザグ行為とします。2番のカートが追い抜くことが出来たとしても適用されません。

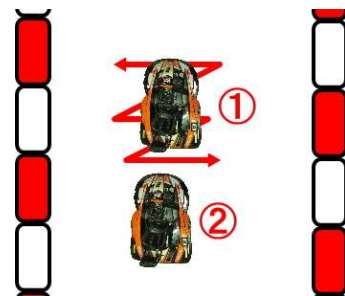
目安

- ・後方から追い越そうとしているカートに対して、わざと走行ラインをずらし蛇行（2回以上の進路変更）する事をジグザグ走行といい、故意に進路変更する行為
- ・レース中のコーナー進入時や立ち上がり、直線で意図的に2回以上走行レーンを変え、後方カートの進路を妨害する走行や悪質な走路妨害をする行為

※避けられない状況や両者に非がある場合は両者ペナルティー又はレーシングインシデントとしてペナルティーが出ない場合もあります。

※タイムトライアル中、走行ライン上で減速や加速、走行ライン交差で他のドライバーの攻撃を故意に妨害する行為

※後続車両の位置や後方の状況を確認する為、頻繁に後ろを振り返る行為も走行ラインのずれや意図せぬ接触、ブロック走行に繋がる為警告やペナルティの対象となります。



6-2 直線区間での幅寄せ

直線区間で1番のカートがラインを変更して2番の車を完全に、または部分的にコース外に追いやることを幅寄せとします。これは双方の車が接触したか否かは関係ありません。

目安として2番の車が1番の車の少なくとも1/2以上の位置にいた場合に判断されます。

目安

- ・1番の車が幅寄せ行為をした場合
- ・2番の車が順位を落とすか、または大きくロスした場合
- ・1番の車が危険行為と判断された場合
- ・2番の車がダメージを受けた場合

※1番の車が2番の車の走行ライン1台分を残し走行する場合は幅寄せと判断されません。

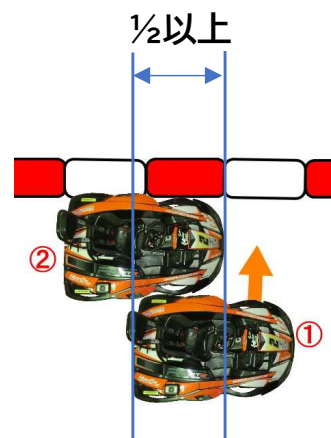
避けられない状況や両者に非がある場合は両者ペナルティー又はレーシングアクシデントとしてペナルティーが出ない場合もあります。

回避のポイント

1番の車は2番の車が横にいる場合は2番側への進路変更はやめましょう。

後ろを見て相手を確認してからの進路変更はやめましょう。

2番の車は1番が幅寄せをした場合に無駄な接触を避けるために引くことも考えましょう。



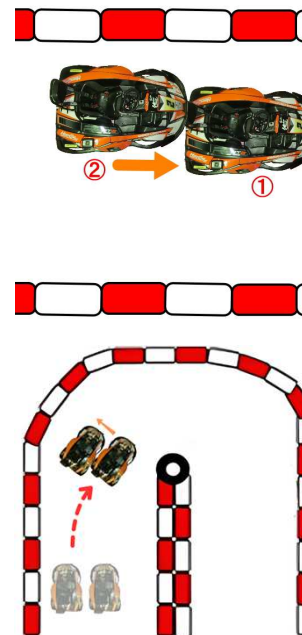
6. 相手の事も考えて走るドライビングモラル (禁止事項)

6-3 プッシング 後方又は側方からの接触

- ① ストレートやコーナーの進入中に2番のカーツのフロントが1番のカーツのリア部分を押し出す行為
1番のカーツの失速や混戦時の玉突き等不可抗力によって起因した後部からの接触の場合はプッシングと判断しない場合があります。
2番が1番のカーツを押し出して1番が利益を得る場合はプッシングと判断しない場合があります。
- ② 並走状態でのコーナー進入時やコーナー中にイン側のカーツのサイドでアウト側のカーツを激しく押し出す行為
混戦時の玉突き等不可抗力によって起因した接触の場合はプッシングと判断しない場合があります。

目安

- ・2番もしくはイン側のカーツがプッシングの行為をした場合で2番もしくはイン側のカーツが順位を上げた場合や1番もしくはアウト側のカーツが順位を落とすか大きくロスした場合
- ・2番もしくはイン側のカーツが危険行為と判断された場合



6-4 追い越しでの無理な突っ込み① (エッジイン①)

(中高速コーナーや複合コーナー)

2番のカーツが十分な隙間がないのに、無理なラインどりや強引な追い抜きで1番のカーツの内側に入っていき危険行為。追い越すには遅くともエイペックスの時点で2番のカーツが1番のカーツの横に並ぶ必要があります。その場合ターンインからエイペックスまでの中点で2番のカーツが1番のカーツの目安として1/2にいる必要があります。
非常に危険な行為ですので、絶対無いようにしてください。
※逆に1番がアウトから2番を追い越す場合は2番に1台分のラインを空ける必要があります。

目安

- ・2番のカーツがエイペックスの時点で1番のカーツの真横に並んでいないのに接触して2番のカーツが順位を上げた場合。順位をあげなくてもその影響で1番が順位を落とすか大きくロスした場合。
- ・避けられない状況や両者に非がある場合は両者ペナルティー又はレーシングインシデントとしてペナルティーが出ない場合もあります。
- ・1番カーツがダメージを受けた場合
- ・2番カーツが適正な原則をしない危険行為と判断した場合。

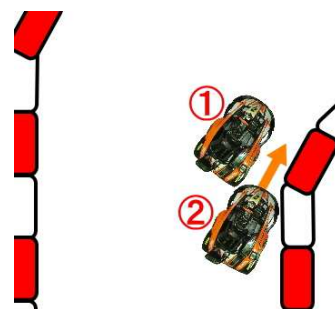
回避のポイント

- ・1番は2番がイン側にいる場合は真横に並ばれてなくても2番のラインを空けて走るのも接触を避けるテクニックです
- ・2番はエイペックスまでに真横に並べないと判断した場合は追い越しをあきらめて、アクセルOFF/ブレーキで接触を回避しましょう。
- ・1番のカーツは中点までに目安として1/2並ばれた場合、2番のカーツの存在を認識する義務があります。
この状態で2番カーツのラインをふさいでしまった場合は1番カーツがペナルティの対象となります。

※エイペックス
コーナーイン側の頂点

※ターンイン
ハンドルを切り始める位置

※中点
ターンインの位置とエイペックスの間点



6. 相手の事も考えて走るドライビングモラル (禁止事項)

6-5 追い越しでの無理な突っ込み② (エッジイン②)

(ヘアピンコーナー等の大きく減速が必要なコーナー)

2番のカートが十分な隙間がないのに、1番のカートの内側に入っていき行為。追い越すには遅くともエイペックスの時点で2番のカートが1番のカートの横に並ぶ必要があります。横に並んでいる場合はお互いに相手のラインを残す必要があります。その場合ターンインからエイペックスまでの中点で2番のカートが1番のカートの目安として1/2にいる必要があります。

目安

- ・2番のカートがエイペックスの時点で1番のカートの真横に並んでいないのに接触して2番のカートが順位を上げた場合。順位をあげなくてもその影響で1番が順位を落とすか大きくロスした場合。
- ・避けられない状況や両者に非がある場合は両者ペナルティー又はレーシンググインシデントとしてペナルティーが出ない場合もあります。
- ・1番カートがダメージを受けた場合
- ・2番カートが適正な原則をしなない危険行為と判断した場合。

回避のポイント

- ・2番のカートはターンインからエイペックスまでの中点までに1/2横に並べないと判断した場合は追い越しをあきらめて、アクセルOFF/ブレーキで接触を回避しましょう。
 - ・1番のカートは中点までに目安として1/2並ばれた場合、2番のカートの存在を認識する義務があります。
- この状態で2番のラインをふさいだ場合は1番がペナルティとなります。クロスラインに切り替えるなど2番のカートのラインを邪魔しないようにしましょう。

※エイペックス

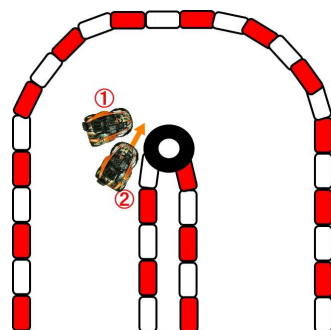
コーナーイン側の頂点

※ターンイン

ハンドルを切り始める位置

※中点

ターンインの位置とエイペックスの間中点



6-6 追い越し後に相手のラインを残さない行為 (カットイン)

図①1番のカートが2番のカートを追いついた後に2番のカートがまだ横にいるにもかかわらず外側にカート1台分のスペースを残さない行為

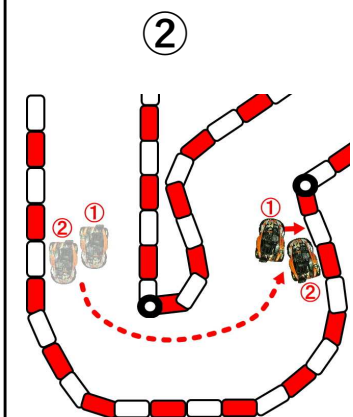
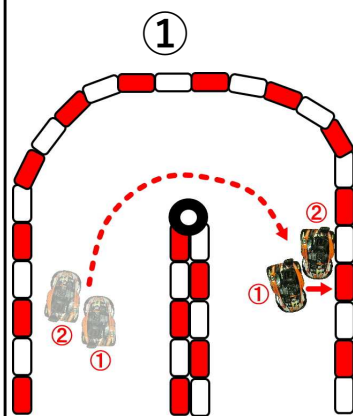
図②手前のコーナーで1番のカートが2番のカートを追いついた後に2番のカートが横にいるにもかかわらずその後のコーナーでカート1台分のスペースを残さない行為。

目安

- ・1番のカートが2番のカートを追いついた後に2番のカートがまだ横にいるにもかかわらず外側にカート1台分のスペースを残さない場合
- ・コーナー出口のアウト側で2番のカートが1番のカートの目安として少なくとも2/3以上の位置にいた場合に判断されます。
- ・目安として2番のカートが1番のカートの2/3以下に下がった場合で接触又はコースアウトを回避しなかった場合は2番がペナルティーの対象となります
- ・避けられない状況や両者に非がある場合は両者ペナルティー又はレーシンググインシデントとしてペナルティーが出ない場合もあります。

回避のポイント

- ・図① 1番は追いついた後は2番のカートが並んでいる場合は1台分相手にラインを空けましょう
- ・図①の1番のカートは目安として2/3並ばれた場合、2番のカートの存在を認識する義務があります。
- ・図② 2番は2/3以下に下がった場合や1番がラインを空けてくれないと判断した場合は接触を避けるためにも、アクセルOFF/ブレーキで接触を回避しましょう。



7. その他の注意事項

7-1 禁止のドライバーモラル

- ①禁止エリアでの喫煙
- ②イベント中の飲酒や飲酒運転
- ③店内やピットでの常識外の場所取りや禁止区画への立ち入り
- ④店舗前通路の場所取りや荷物を放置し、通行人等の交通の妨げとなるような行為
- ⑤ドライバーズミーティングの不参加や私語により進行を遅らせる行為
- ⑥黄信号（旗）が出ているにもかかわらず、速度を落とさず前方のカートとのギャップを詰める行為
- ⑦黄信号が出ようとしているコース状態にもかかわらず、追い抜きをかける行為
- ⑧走行中に頻繁に後ろを振り返り見る行為
- ⑨レース本規則や追加公式規則に関する事項を守らない行為
- ⑩停止後にコース復帰する場合、後続車がいるにも関わらず後続車通過前に危険な再スタートをする行為、並びイン停車後の行動についてコースオフィシャルの指示に従わない行為
- ⑪事故停止カートやコースアウトしたカートを放置し障害物とさせる行為
- ⑫コース上から競技中にコースを横断したり他者に物を投げる行為
- ⑬コースを逆走し事故を招く行為
- ⑭ピットロードを減速せずに走行する行為、タイヤロックさせて停車する行為
- ⑮故意にピットロード内で他のカートや停車しているカートに追突する行為
- ⑯カート走行及び競技参加に不適切な服装での参加 ※ドライバーの装備品参照
- ⑰競技規則を読まない、理解しないで主催者にクレームを入れる行為
- ⑱他社への暴言、暴力行為や走行中に競技相手を挑発する言動や行動
- ⑲レース運営や最低に対し、理由も聞かず暴言や暴力、根拠に乏しい内容や思い込みでの抗議
※裁定等に疑問がある場合は、落ち着いて競技長並びに競技役員にお申し出をお願い致します。
感情的な申し出等は、全てお断りいたします。

レースは1人ではなく他の参加者がいて成り立つイベントです。ガイドラインを確認してお互いをリスペクト（尊重）して楽しくレースをしましょう！

レースを参加者全員で楽しみましょう！